

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳）

〈記載例〉

6年2組	指導者	〇〇〇〇	主題名	謙虚に広い心をもって
教材名	ブランコ乗りとピエロ		内容項目	相互理解・寛容
ねらい	ピエロがサムを受け入れたことについて、人を許すことの難しさや受け入れるときの様々な考え方・感じ方を想像する学習活動を通して、自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。			
評価の着眼点	【多面的・多角的な見方】 サムを受け入れるときの様々な考え方について、想像したことを発言したり書いたりしているかどうか。			
学習過程	「めあて」 「広い心について考えよう」 【中心発問】なぜピエロから、サムを憎む気持ちが消えたのだろうか。 ＜道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めるための手立て＞ ○同じように誰かへの腹立たしさが消えた、許したという経験はないか問いかける ・時間がたって怒りが落ち着いたことはあったけど、消えたり、許したりはないかなあ ・私は、ピエロと同じような経験があるよ ・◇◇さんの話（同じような経験）詳しく聞いてみたいなあ ＜一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させるための手立て＞ ○「がんばっている」と思えたら、「許せない」という気持ちは消えるのか問いかける ・サムががんばっているのを見て、責めたことを反省したから許したと思うよ ・自分と似ていると思って、サムのことを認めたからだと思うよ 「振り返り」の視点 ・今日の学習で、これからの自分にとって大切だと感じたこと			